

令和 8 年度一般選抜入試

『簿記』出題意図

高等学校における「簿記」の取引の記録と財務諸表の作成を企業会計に関する法規と基準を適用して適正に行うための理論的および実務に即した知識と技術について、株式会社会計ほかの教科書の発展的内容を含め理解、運用する能力を問うている。

- 【Ⅰ】は、各種の会計帳簿への記帳、伝票による記帳、簿記一巡の手続きについて、それぞれの手続きの順序の理解を問うものである。
- 【Ⅱ】は、取引の記帳のうち債権・債務と有価証券について、約束手形の振出・割引・裏書譲渡の記帳方法の理解、運用する能力を問うものである。
- 【Ⅲ】は、株式会社会計について、当期純損益の計上と繰越利益剰余金の配当及び処分、法人税等の申告、決算時の処理の理解、運用する能力を問うものである。
- 【Ⅳ】は、決算手続きについて、貸借対照表と損益計算書の作成を通して、商業簿記における基本的な決算整理事項の仕訳と金額計算、財務諸表上の表示の理解を問うものである。
- 【Ⅴ】は、会計ソフトウェアの活用について、利点及び効率的に取引の記録と財務諸表の作成を行う方法の理解を問うものである。